

第198号 発行日 平成25年7月4日

合格通信

今
月
の
名
言

人間は失敗する権利をもっている。
しかし失敗には反省という義務がついてくる。

— 本田 宗一郎 —
(本田技研工業創業者)

これは、塾生のみなさんと、特進スクールを訪れてくれた、小中高校生の皆さんとお問い合わせいただいたお父さん、お母さんに向けて、勉強法や受験に役立つ話題をお届けする情報誌です。

国語の学習方法①



読解力をすぐに簡単に引き上げる方法はない。

「国語が苦手なので教えてください」と言ってくる生徒と親は結構多いのです。けれども残念ながら、国語という科目はほかの科目に比べて努力に比例して成績が上がる確率が低い科目です。漢字や文法、文学史に限って言えば、簡単に成績アップも可能ですが、読解力となるとそうはいきません。本気で腰を据えて取り組まないとどうにもなりません。ではどうすればよいかアドバイスします。

まず文章中の漢字が読めること。言葉の意味がわかること。それには辞書を常に使うこと。

国語の勉強の第一の目的は、文章を読んでこれを書いた人の言いたいことを正確に理解することです。これを書いた人は、何を言いたいのか、読んでいる自分に、どういうことを伝えようとしているのか、どういうことに気づかせたいのか、そのようなことを読み取るのです、そのためにはどのようなことが必要かということ、真剣に考え尽くしていけば、国語の勉強法は自然とつかめます。

文章を書いた人の意図を正確に理解する。そのために必要なことは、三つあります。まず一つは、その文章に含まれているすべての言葉が読めることです。つまり、もしわからない漢字があったのではその文章の意味を正確に読み取ることはできません。ですから、**漢字の能力は必要なのです。**

そして二つ目は、その文章に含まれるすべての言葉の意味が分かることです。つまり、もしも意味の分からないことばがあったら、その文章の意味を正確に読み取ることができません。ですから**わからない言葉は、辞書でしっかり調べて意味をつかんでいかななくてはなりません。**

・・・次回に続く。